

# 「学修成果の可視化

何を、何によって、  
どのように測定するか」



知識の定着、知識を能力に変えるにはアクティブ・ラーニングの活用が求められます。しかし、その学修成果を測定することは容易ではありません。一方、高次汎用能力等の測定には、学生の行動・活動等の現象の抽象化と具体化の往還が必要になります。そのために、主にルーブリックが活用される例が多くなっています。高次汎用能力等をルーブリックで評価する場合、その指標は科目レベルの指標です。しかしながら、「3つのポリシー」を考えると、大学全体で目指すべき指標であることは見落とされがちです。さらに、その他の測定の手段は多く論じられているものの、その方法についてはあまり触れられていません。

そこで、本フォーラムでは、学修成果の可視化を目的とした測定の方法やその内容について考えていきます。

日時

2019年3月13日 水

13:00~16:30

先着

100名

参加費無料

会場 玉川大学 大学教育棟 2014 612教室

対象 大学・短期大学の教職員およびその関係者

主催：  玉川大学

お問い合わせ：玉川大学教学部教育学修支援課

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1

TEL: 042-739-8866 E-mail: il-supports@tamagawa.ac.jp

## プログラム

- 13:00 開会挨拶 玉川大学 学長 小原 芳明
- 13:05 基調講演 「学修成果測定の可能性と陥穽」  
早稲田大学 教育・総合科学学術院 教授 吉田 文
- 14:05 休憩
- 14:10 事例報告① 「玉川大学における学修成果の測定方法とこれから」  
玉川大学 教学部長 稲葉 興己
- 14:30 事例報告② 「大阪府立大学における学修成果可視化の試み」  
大阪府立大学 高等教育開発センター 准教授 畑野 快
- 14:50 事例報告③ 「高大社をつなぐ学びの可視化を探る  
—PROGから見えてきた客観的評価の可能性—」  
学校法人河合塾 教育イノベーション本部 開発研究職 成田 秀夫
- 15:10 休憩
- 15:25 パネルディスカッション  
パネリスト：早稲田大学 吉田 文 河合塾 成田 秀夫  
大阪府立大学 畑野 快 玉川大学 稲葉 興己  
進行：玉川大学 教学部事務部長 中村 好雄
- 16:25 閉会挨拶 学校法人玉川学園 高等教育担当理事 菊池 重雄
- 16:30 終了

## 会場アクセス [玉川大学 大学教育棟 2014 612教室]

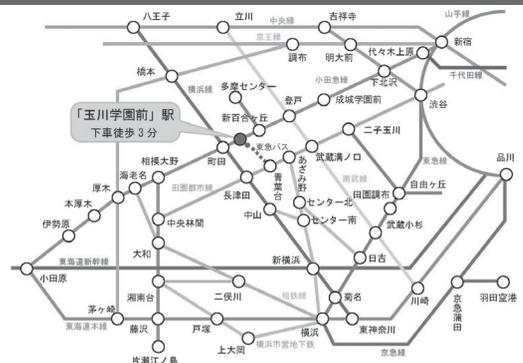
### \*新宿より(約30分)

小田急線「新百合ヶ丘」駅にて〈各駅停車〉〈準急〉に乗り換えて、  
「玉川学園前」駅下車

### \*小田原より(約60分)

「町田」駅にて〈各駅停車〉〈準急〉に乗り換えて、  
「玉川学園前」駅下車

「玉川学園前」駅 北口より、新宿方面へ進み、徒歩約3分



## 参加お申し込み方法・お問い合わせ先

参加をご希望の方は電子メールにて下記項目を記載の上、お申し込みください。

①氏名(フリガナ) ②所属 ③職名 ④職種(教員・職員・学生・その他) ⑤メールアドレス  
メールタイトルを「APフォーラム参加申込み」としてください。

送信アドレス ▶ [tamasympo@tamagawa.ac.jp](mailto:tamasympo@tamagawa.ac.jp)

※お申込みの際にお知らせいただきました個人情報は、  
フォーラムの集計およびご案内を目的とした運営のための利用以外には一切使用いたしません。

玉川大学教学部教育学修支援課

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1 TEL : 042-739-8866

E-mail : [il-supports@tamagawa.ac.jp](mailto:il-supports@tamagawa.ac.jp)

